

瀬戸市立図書館整備基本構想（案）に対する意見募集
（パブリックコメント）の実施結果

- 1 意見募集期間 平成 28 年 2 月 8 日（月）～3 月 7 日（月）
- 2 意見提出人数 32 人（郵便 1 件、F A X 16 件、E メール 11 件、持参 4 件）
- 3 概要として分類した意見件数 132 件

意見件数の内訳

項目	意見数	整理番号
基本的な考え方について	13	1～13
機能及び配置計画について	51	14～64
建物について	4	65～68
管理運営体制について	13	69～81
立地について	18	82～99
交通アクセスについて	5	100～104
今後の進め方について	11	105～115
その他	17	116～132

4 意見への対応

- (1) 意見を踏まえて、案の修正を検討するもの 4 件
- (2) 今後の事業実施の参考とするもの 82 件
- (3) 意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済であるもの 46 件
- (4) その他（本計画案に対する意見でないもの等） 0 件

5 意見の概要及び市の考え方

基本的な考え方について（整備基本構想の策定）

番号	意見の概要	市の考え方
1	アンケート調査を含め、基本構想の作成は民間委託ではなく、教育委員会で十分検討し、策定すべきである。その上で、市民の意見をしっかり聞いてほしい。	利用者、関係団体、有識者等の意見及び先進事例調査を踏まえて新図書館に必要な機能とサービスについて検討するため、また、施設立地及び整備に係る可能性調査の要素を取り入れるために業務委託を行っております。なお、本構想の策定につきましては、瀬戸市教育委員会で行いました。
2	図書館計画の基本に関わる事前調査及びデータ収集に関しては、業者ではなく、専門知識のある学識経験者（図書館を研究していて、かつ偏った研究でなく広い視野をお持ちの方）を選定してほしい。市民の意見を聞くことは大変重要ですが、意見を集約しただけでは良い図書館は出来ません。それを良い方向に持っていける人が必要です。事前調査及びデータ収集により、まず規模や駐車台数が設定され必要な敷地面積や立地条件が決まる。どこでやっても必ず同じ結果が出るビジョンの無い無駄な調査に委託費を費やすのはやめてほしい。	
3	この基本構想（案）の作成にあたって、図書館職員の意見が反映されていないように思える。現在の図書館の運営に携わっている図書館職員の意見を反映させるのが原則であると考えている。	瀬戸市立図書館の現状と課題、今後の展望について、現在勤務している職員に対し、意見聴取し、本構想に反映しています。

基本的な考え方について（図書館整備の方向性）

4	<p>図書館を拠点として、町の活性化を考えるのか、図書館の意義を重視するのかでいろいろ決定すると思う。</p>	<p>本構想では、瀬戸市立図書館整備の方向性として、①誰もが行きやすい、行きたくなる図書館 ②瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館 ③コミュニティの核となる図書館として整理しています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>瀬戸市立図書館の理念が何なのかわからない。どうして今までの取り組みから整理して「構想案」として示されなかったのか。ただし、ヒヤリングの抽出されたニーズは、次のとおりですと「図書館のもつ資質活用」、「場としての機能の充実・拡張」にありますと述べられています。</p> <p>また、基本構想検討のポイントとっていますが、市民にパブリックコメントを求めていながらそれが文書に整理されていないことがおかしくないですか。</p>	
6	<p>町づくりの1つとして位置付けての構想を策定する。瀬戸市としての基本方針を明確にし、“最初にこれあり”でなく住民の意見、利用者の立場で検討をしてほしい。</p>	
7	<p>調査結果を示すにとどまり、図書館の将来にわたる方向性を示す新図書館のコンセプト、設置場所、建築図面、図書館とコミュニティ施設の関係、蔵書、来館者、アクセス、駐車場など具体案に欠けている。本案は、論点を詳細に多岐に示し、それからどの案を採用するのかということには言及していない。市民の意見を聞いて意見の分布または投票から最終案を決着しようとしているか。それなら、委員会、作業部部会等を作って最終案を作るか道筋を示すべきです。その後、最終案についてパブリックコメントを求めるべきではないか。市民に意見を聞くのはいいことですが、将来案の選択を市民に任せただけでなく、行政（図書館）が専門性を生かし、責任を持って案をまず示すべきではないかと考える。</p>	

8	図書館の使命は、市民に読書、調べものをする機会を与えることであり、特に陶芸関係の重要な資料の保存、閲覧は重要ある。	<p>本構想では、瀬戸市立図書館整備の方向性として、①誰もが行きやすい、行きたくなる図書館 ②瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館 ③コミュニティの核となる図書館として整理しています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
9	「瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館」とするために、外装に陶板を設えるということではなく、資料エリアに瀬戸らしい設えがあることである。	
10	「瀬戸市の歴史と文化を知り、活用できる図書館」とするために、外装に陶板を設えるということではなく、資料エリアに瀬戸らしい設えがあることである。	
11	建築がすばらしくて「行きたくなる図書館」といっても、中身、蔵書がしっかりしていなければ図書館の機能が果たせない。	
12	子どもや若者には特に良書と接することが必要だと思いますので、子どもたちが行きたくなる図書館を目指してほしい。	
13	基本構想（案）には、「瀬戸市民に果たす図書館の役割」についてふれられていない。建物の基本構想を考える前に「瀬戸市民に果たす図書館の役割は何か」が、深く構想されるべきである。	

機能及び配置計画について（本館、地域図書館、情報ライブラリー）

14	中心街に一箇所に大きな図書館を設置するのではなく、水野地区や菱野団地に図書館の分館を設け、本館はそのまま改修して使う方法もある。	現在、5か所の小中学校の図書室を地域図書館と位置づけ、本館とネットワークをもち、土・日・祝日に開館しています。水野地区では水野小学校、西陵小学校を、菱野団地では光陵中学校を、地域図書館としての分館機能をもたせ設置しています。今後も地域のコミュニティの中心となる学校で図書室を活用した地域図書館の役割について検討していきます。また、情報ライブラリーにおいても、本館と同様にサービスが受けられるよう充実させていきます。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
15	地域図書館を有効活用されるように整備し、3階にある地域図書館の見直し、コミュニティバスの運行等により、図書館の規模、駐車場の考え方は大きく変わる。候補地を挙げるのは早い。	
16	地域図書館は、利用しやすく充実して残してほしい。上階にあり昇り降りが大変な所もあると聞きます。高齢化社会に伴い、近くに利用しやすい図書館がほしい。	
17	本館、情報ライブラリー、地域図書館の現在のあり方を継続し、さらに利用しやすくしてほしい。	

機能及び配置計画について（機能配置）

18	図書館の機能を同一建物内に配置するのではなく分散させても良い。「一般」「調査研究」「事務」「閉架書庫」は歴史民俗資料館跡地に新設し、壁画を移設する。現図書館は駐車場とする。「児童・子育て支援」「中高生」「学習」は、パルティセと3、4階に移設する。	図書館サービスに必要な機能を施設内にどのように配置するかについては、本構想のP39、40に整理しています。また、図書館整備に必要な機能等については、P29、30に対処策として考えられることを整理しています。
19	話し合うことができたり、雑談できたりするラーニングコモンズと静粛で読書に集中できる2つのエリアがあると良い。	
20	子育て世代も様々な交流ができたり、子供がはしゃいだりしても大丈夫なように空間の設計を行ってほしい。	

21	30～50年先の事を考えて、次世代の人たちも誇りをもって利用出来るものにして行きたい。古くても味わいのある市民の憩いの場、知識をつける場にしたい。	図書館サービスに必要な機能を施設内にどのように配置するかについては、本構想のP39、40に整理しています。また、図書館整備に必要な機能等については、P29、30に対応策として考えられることを整理しています。
22	憩いの場、長時間滞在できる工夫として、授乳やおむつ替えができることは必須。カフェがあるとお昼やおやつも食べられてうれしい。カフェ以外でも、飲食可能なスペースがあると、持参したい人のニーズにも応えられると思う。ロッカーがあると、余計な荷物を持たずにゆっくり本が見られてよい。	
23	現在の場所のままだと、平面の建物は難しいと思うので、階層的な構造が現実的だと思う。	
24	利用者を増やすためには、複合的な施設にすることも一つの手段であるが、図書館の機能としては、その中でもきちんと独立をしたスペースにしてほしい。	
25	居心地の良い空間づくりにしてほしい。 (座り心地の良い椅子、机)	

機能及び配置計画について（図書館サービス）

26	図書館利用カードとして、記名式マナカなども利用できれば便利である。	図書館サービス等については、本構想のP29、30に対応策を整理しています。記名式マナカなどを利用したICシステム等の導入は、P21に先進事例として韮崎市立図書館のFelicaを活用した事例を紹介しています。
27	若い人たちがインターネットで自動予約や、自動貸出、自動返却、電子書籍の貸出等ができれば利用者も増えると思います。	
28	Wi-Fi環境の整備は現在ある他施設を含め、早急に行ってほしい。	

機能及び配置計画について（蔵書）

29	蔵書を充実してほしい。	<p>年間 12,000 冊を超える新刊を購入し、資料の充実を図っています。また、瀬戸市の歴史文化、産業（陶磁器）については、参考室に郷土資料のコーナーを設置しています。今後も瀬戸市立図書館資料収集方針に基づき、魅力ある資料、情報の提供ができるよう努めていきます。</p> <p>図書館整備に必要な蔵書についての対応策は、本構想の P29、30 に整理しています。</p>
30	建物に使う資金があるなら、もっと蔵書を充実させてほしい。	
31	本が古いので、新しくしてほしい。	
32	人気のある本を増やす。	
33	蔵書については、現在、一般書や専門書も各分野平均に新しく入っているが、物理、数学でかなり専門的な本が入っている。	
34	流行本、よく読まれる本など揃えて貸出冊数を増やすのではなく、専門的な各種の蔵書を外部的経済効果が高いかどうか判断することが重要と思います。	
35	図書館は、幅広い探究心を受け入れてくれる所です。その信頼を裏切らない読書（絵本等を含む）要求に答えてくれる良書の提供の場である。	
36	AV 資料の充実。	
37	資料数が全く足りません。アンケートをとるまでも無い。 瀬戸市は知らなくても、瀬戸物は日本人全てが知っている。すばらしいポテンシャルを持った、もはや焼き物に限らないクリエイターの町です。それをアピールする図書館にしたい。（陶板を張るといった短絡的な話ではなく、本来の魅力を資料構成の中であらわす）・小説もいいが、ハウツー本充実の方がクリエイターの町に相応しい。調べたい事に必ず答えが見つかる、教養が身につく資料を主体にしてほしい。 特に AV 関係の資料を充実してほしい。ジャンルを固定せずに、若い人が興味を持つもの、その方がよっぽど人を呼びます。	

38	市としての歴史的資料、陶器産業として後継者を育てる陶器関係資料のスペースを十二分にとることが必要だ。	年間 12,000 冊を超える新刊を購入し、資料の充実を図っています。また、瀬戸市の歴史文化、産業（陶磁器）については、参考室に郷土資料のコーナーを設置しています。今後も瀬戸市立図書館資料収集方針に基づき、魅力ある資料、情報の提供ができるよう努めていきます。
39	瀬戸市としての地域性を生かした建物、資料の充実を望む。	
40	瀬戸市の歴史、文化、産業（陶磁器）について学べる資料コーナーが必要である。	図書館整備に必要な蔵書についての対応策は、本構想の P 29、30 に整理しています。
41	ブックスタートの棚の本が少ない。	ブックスタートの本は、専用コーナーを設け、面出し(表紙出し) 展示をして貸出をしています。大変利用者が多いので、副本として所蔵しています。こうした本は、貸出中であることが多いですが、予約して借りていただくことができます。また、ブックスタートの棚の裏面の棚にも、赤ちゃん向けの本を多数揃えています。

機能及び配置計画について（スペース全般について）

42	明るく開放的な雰囲気。棚の高さは低めに、通路はベビーカーが通れる広めにとってほしい。入り口近くにベビーカー置き場を確保してほしい。	アンケート、ヒアリング結果及び意見交換会でいただいた意見からも、ベビーカーに関するご意見を多数いただいております。本構想の P 29、30 に対応策を「サービス計画にあった適正な平面計画」、「居心地の良い空間の確保」を挙げていますが、具体的に「ベビーカーの通れるスペース及び置き場所の確保」を追加修正します。
----	---	--

機能及び配置計画について（閲覧スペース）

43	ゆっくり閲覧できるスペースが必要である。	閲覧スペースについては、本構想のP29、30 に対応策を「サービス計画にあった適正な平面計画」、「居心地の良い空間の確保」として整理しています。
44	暗くて狭い場所が多い。	
45	本棚の近くに腰かけられる閲覧スペースを作ってほしい。	
46	ゆっくり座って本が読めたり、勉強できるスペースがあれば今は別棟になっていて学生さんは本をさがすのに一度部屋から出てまた戻るのでは不便です。	
47	本棚の近くに腰かけられる閲覧スペースを作ってほしい。じっくり見て本を選びたい。	
48	本の近くに読む場所がなく、関係図書は何冊も見比べたい調べ物には煩わしい。	

機能及び配置計画について（児童コーナー、子育て支援コーナー）

49	小さな子供たちやママたちのおしゃべりできる場所や読み聞かせや遊べるスペースを他の利用者との部屋と分けるとお互いに気を使わなくていいのではと思います。ガラス張りで子供たちが見えるのもまた楽しいかとも思います。	現在、絵本コーナーにおいて、畳を敷き、親子で読み聞かせを楽しめるスペースを作っていますが、スペース的には不十分であり、親子で気兼ねなく過ごせる環境の確保が必要であると認識しています。なお、P30 に対応策として考えられることを「親子で気兼ねなく行くことができる環境の確保」、「授乳室、おむつ交換ベッドの確保」、「託児や育児相談サービスの導入」として整理しています。
50	子どもに読み聞かせできるたたみコーナーのようなスペースをつくってほしい。	

51	子ども用のスペースが狭く、声も出しちゃいけない雰囲気。入り口近くにスペースを設けて、多少声を出しても大丈夫な雰囲気になってほしい。子どもの本と、子育てしている親向けの本が近くに配置してあると、目の届く範囲で本が探せて親としてもうれしい。	現在、絵本コーナーにおいて、畳を敷き、親子で読み聞かせを楽しめるスペースを作っていますが、スペース的には不十分であり、親子で気兼ねなく過ごせる環境の確保が必要であると認識しています。なお、P30 に対応策として考えられることを「親子で気兼ねなく行くことができる環境の確保」、「授乳室、おむつ交換ベッドの確保」、「託児や育児相談サービスの導入」として整理しています。
52	「児童・子育て支援」は、パルティセと3、4階に移設し、騒いでも良い、気兼ねしない場とする。また、教育ボランティア等と協働し、一時的ミニ託児所を兼ねる。	

機能及び配置計画について（学習室）

53	学生が勉強するための学習室が必要である。学生時代に勉強等のために図書館を利用すれば、それ以降も図書館の利用者となる。	学生時代に、図書館を利用する機会があれば、その後も図書館を活用していただけたらと考えています。なお、P29 に対応策を「サービス計画にあった適正な平面計画」として整理しています。
54	<p>学習室は図書館本来のものではありません。家庭にも学校にも空調が無かった40年前とは異なり、学習室は不要です。そんな予算があったら本来の機能がより充実した図書館を作ってください。</p> <p>・家では勉強に集中が出来ないという子もいますが、そんな子のためには、その時間に空いているはずの学校を開放して有効活用して下さい。その場合、水分補給とお弁当が食べられる飲食ゾーンは用意してあげてください。図書館を子どもたちにとって身近なものにする為に学習室を作るという</p>	

	<p>考え方はありますが、それなら図書館と学校を併設してください。施設の有効活用と、学校教育と生涯教育の連携も自然に進み、一石二鳥です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した資料を活用した本来の研究学習空間は図書館の重要な要素です。一般の学習室とは全く異なります。 	
--	---	--

機能及び配置計画について（音楽室）

55	楽器の練習ができる防音効果のある音楽室の設置をしてほしい。	図書館整備に必要な機能かどうか検討する必要がありますと考えます。
----	-------------------------------	----------------------------------

機能及び配置計画について（カフェの併設）

56	カフェの併設は賛成ですが、飲食しながら閲覧しない、学習と飲食のスペースは別にするなどマナーが守られるようにしてほしいです。	<p>現在、資料が汚損する恐れがあるため、正午から13時のお弁当以外は館内での飲食は禁止としています。本構想では、アンケート、ヒアリング調査、意見交換会の意見、及び先進事例から、P29、30で、図書館整備の対応策として「カフェの設置」、「飲食等できる場所の確保」を挙げています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
57	図書館の敷地が十分に確保できない状況で、カフェを作ることは反対です。騒がしさと隣り合わせの図書室になることを懸念します。カフェが目的（目玉）にならないように望みます。	
58	利用しやすい図書館にすることは重要だが、食堂カフェは原則図書館の内部には不必要。行きやすい図書館になったとして、飲食が目的で、行く人が増えるのは図書館の本来の機能を妨げる。文部科学省の基準の5,140 m ² は図書館部分だけであってカフェは含まない。上記の場所なら民間のカフェが周辺にできることは期待できる。	

59	無理にカフェなどは必要ないと思います。	<p>現在、資料が汚損する恐れがあるため、正午から13時のお弁当以外は館内での飲食は禁止としています。本構想では、アンケート、ヒアリング調査、意見交換会の意見、及び先進事例から、P29、30で、図書館整備の対応策として「カフェの設置」、「飲食等できる場所の確保」を挙げています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
60	1日中滞在できるようにカフェやファミリーレストランなども商業施設として入居していれば、図書目的でなくとも気軽に立ち寄れます。	
61	利用者を増やすために、複合的にし、カフェなどは障害者の方たちの働く場とする。	
62	喫茶室を併設し障害者の方の活躍の場にしてほしい。	
63	昼をまたいで行くのを躊躇うことが多い。カフェ・コンビニがあればその躊躇いが無くなります。飲食のついでに本を読んでもかまわない。既成概念は今後も変わっていきます。	
64	カフェがあるとお昼やおやつも食べられてうれしい。カフェ以外にも、飲食可能なスペースがあると、持参したい人のニーズにも応えられると思う。	

建物について（施設のバリアフリー）

65	施設のバリアフリー化が必要である。	<p>施設のバリアフリー化については、喫緊の課題と考えております。</p> <p>本案P30の「場としての機能の充実・拡張」の「対応策として考えられること」に、具体的に「バリアフリー化」を追加修正します。</p>
----	-------------------	--

建物について（壁画）

66	北川民次の壁画（図書館の中のもの と外壁のもの）を生かした設計に すること。	ご意見につきましては、今後の参考と させていただきます。
67	新たな建物を造る場合、その壁画を、 一部移設保存の様な中途半端なもの ではなく、すべての壁画を移設して ほしい。	
68	「建物外壁は陶板」に決め付けない でほしい。一つの案としてはあるが、 安易な思いつきで決め付けると暗く 陰気な感じで野暮な物になってしま います。	

管理運営体制について（管理運営体制）

69	<p>市の直営で運営すること。民間運営 には反対である。</p> <p>（理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由で気軽に資料の貸出ができ、 歴史・文化の資料の保存、知る権利 の保障および公正な運営のため。 ・他機関との連携し、“知”と“文化” の拠点となる図書館とするため。 ・営利目的としないため。 ・本来の公立図書館の意義のため。 ・図書館の管理や保存のため。 ・カフェなどの経営や他のサービス と一体経営さになると営業主体とな り、図書館業務が疎かになるため。 ・ソフト面の充実が後退する。（レフ ァレンス業務の後退） 	<p>瀬戸市立図書館の窓口業務は、平成 20 年 4 月から業務委託により行っていま す。</p> <p>業務を委託したことにより、開館日の 増加や開館時間の拡大等を実現してい ます。</p> <p>司書の配置については、直営時代には、 市職員の人事異動により変動していま したが、業務委託後は、安定した司書 の配置で業務が遂行されています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考と させていただきます。</p>
----	--	---

70	<p>図書館は、市の直営で自治体職員が携わった運営を望む。構想案に直営によるデメリットとしてあげられていた人事問題・時間延長に関する事は、充分に対応策が考えられる。瀬戸市の事が分かっている、いろいろな機関と連携を取り易い強みを生かしながら、瀬戸市の“知”“文化”の拠点となる図書館をつくってほしい。</p>	<p>瀬戸市立図書館の窓口業務は、平成20年4月から業務委託により行っています。 業務を委託したことにより、開館日の増加や開館時間の拡大等を実現しています。 司書の配置については、直営時代には、市職員の人事異動により変動していましたが、業務委託後は、安定した司書の配置で業務が遂行されています。</p>
71	<p>運営方法については、さらなる人件費の削減につながるような外部委託には反対である。比較的給料の低い人の給料をさらに下げる必要があるのか。人件費について手を付けるのであれば比較的高給をもらっている瀬戸市の職員の給料をまず先に下げるのが筋。(何も職員の給料を下げろというのではなく、低い給料の人の給料を下げるべきではないという主旨) 外部委託した方が経費の節減になるとの見方には疑問を持つ。委託先が倒産した場合のリスクなどを見込んで将来キャッシュフローを計算して比較検討しているのか。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
72	<p>図書館管理は市直営がよい。PFIや指定管理者では瀬戸図書館の長期目標に責任を持たず、営業が主体になり、図書業務がおろそかになる。特にカフェなど飲食や他のサービス業務と一体で経営されると図書の本来の業務が疎かになる。蔵書の選択維持も市民の要望と一致しなくなる。もし仮にPFIや指定管理者になっても、市当局と市民による図書委員会が蔵書の選択と図書館の本来の機能に権限を持てるようにする。 専門家である図書司書を重用し、ボランティアを含めてフロアでの読書のアドバイザーがあるとよい。</p>	

73	人件費削減、コスト削減の理由での民間委託、指定管理に反対。	瀬戸市立図書館の窓口業務は、平成20年4月から業務委託により行っています。	
74	指定管理（民間）ありきでは進めない。		業務を委託したことにより、開館日の増加や開館時間の拡大等を実現しています。
75	ツタヤ方式、TRC、PFI方式はやめてほしい。		
76	<p>指定管理は駄目です。</p> <p>ショッピングセンターの「ような」図書館ではなく、ホテルのコンシェルジュや、気の利くウェイターのいる一流レストランの様にサービス重視する。</p> <p>行政の指定管理の傾向として、図書館、保育所、博物館、病院、福祉施設等がありますが、それは間違いです。それは、市の職員のうち、司書、保育士、学芸員、看護師、介護福祉士など専門的で能力のある方々に限って排除し、コスト競争の当然の結果として、優れた能力を民間の安い給料で買い叩きわめて間違った「制度の悪用」になっています。どうしてもコスト削減重視なら、先の能力のある方々は正職員として残したまま、誰にでも出来る一般職員の作業を主婦や高齢者など（指定管理企業のような無駄な経費のかからないパートで十分）に出して市民に還元すべきです。</p> <p>・武雄図書館はある程度先進的かもしれませんが、中途半端です。営利目的が大きな足かせになっています。能力のある職員が運営すれば、はるかに画期的で優れた魅力ある図書館が出来るはずです。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	

77	業務を委託したことにより、開館日の増加や開館時間の拡大等を実現しています。	瀬戸市立図書館の窓口業務は、平成20年4月から業務委託により行っています。
78	司書の配置については、直営時代には、市職員の人事異動により変動していましたが、業務委託後は、安定した司書の配置で業務が遂行されています。	業務を委託したことにより、開館日の増加や開館時間の拡大等を実現しています。
79	郷土資料（陶磁器）に関する専門家を、館長もしくは副館長として公募招聘し、運営は一部業務委託または、指定管理制度を採用する。	司書の配置については、直営時代には、市職員の人事異動により変動していましたが、業務委託後は、安定した司書の配置で業務が遂行されています。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

管理運営体制について（職員）

80	レファレンスに対応できるように司書を配置してほしい。	瀬戸市立図書館条例第6条で、図書館に、司書を配置することになっています。
81	館長をはじめ職員は正規職員の専門職（司書）を配置する。専門職として研鑽しレファレンスに対応できる。	

立地について（施設立地に関するケース検討）

82	建物自体は現在の傾斜地を生かしながらもバリアフリーを実現したもので外部は公開空地などの広場を設けてのんびりできる場所があったり、外装や内装、アプローチは陶器のまち、瀬戸らしさを演出して他所から瀬戸に引っ越してきて使う人にアピールしたり、地元の人が他所で瀬戸の図書館を自慢できるようなデザインとなると良い。	本構想では、新しい瀬戸市立図書館の立地として、①現図書館地内、②瀬戸市文化センター地内、③産総研瀬戸サイト跡地、④パルティセと内、⑤深川小学校内の5つのケースを整理しています。ただし、候補地として絞り込むためではなく、あくまでも想定されるケースとして、検討したものです。なお、検討内容については、P44、45の表のとおりです。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
----	--	--

83	<p>建物自体は現在の傾斜地を生かしながらもバリアフリーを実現したもので外部は公開空地などの広場を設けてのんびりできる場所があったり、外装や内装、アプローチは陶器のまち、瀬戸らしさを演出して他所から瀬戸に引っ越してきて使う人にアピールしたり、地元の人が他所で瀬戸の図書館を自慢できるようなデザインとなると良い。</p>	<p>本構想では、新しい瀬戸市立図書館の立地として、①現図書館地内、②瀬戸市文化センター地内、③産総研瀬戸サイト跡地、④パルティセと内、⑤深川小学校内の5つのケースを整理しています。ただし、候補地として絞り込むためではなく、あくまでも想定されるケースとして、検討したものです。なお、検討内容については、P44、45の表のとおりです。</p>
84	<p>広い面積と傾斜地でないことから新図書館の場所は産総研跡地か文化センターが最適である。傾斜地は 駐車しにくいし、年寄り子供に不便。</p> <p>この場所は他のコミュニティとの賑わいは少ないが、瀬戸中心に近く、今後コミュニティとの賑わいも出てくるのが期待できる。駐車場は専用で100台程度必要。文化センターの駐車場はイベントがあるときに満員になるので共用は難しい。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
85	<p>一人でも多くの市民が利用できる様にする為に5ヶ所の候補地の中からは、文化センターに隣接する瀬戸サイト跡地が適切かと思う。電車の沿線からは少し外れるが、“子どもから高齢者まで誰もが利用し易い”様に、コミュニティバスを活用して利便性を良くする等の方策も考え合わせていく必要がある。</p>	

<p>86</p>	<p>現状図書館利用については、恩恵を受けている人と、受けたくても受けられない人が存在する。受けられない人とは、車利用ができない高齢者や障がい者で徒歩で行けない人。計画においては、恩恵を受けられていない人に受けられるようにするためにお金を使うべき。(恩恵を受けている人を優先すべきでない)</p> <p>具体的には陶生病院と図書館の間を発着場所に瀬戸線を囲むように循環する大型バス路線を赤字覚悟で新設し、年間3,000円程度で乗り放題とする。(それが無理であれば敬老パスを導入する)</p> <p>図書館についてはエレベーターを歩道に設置するなどマイナーチェンジに留める。</p> <p>土地に関して言えば「文化センター地内」「産総研瀬戸サイト跡地」「深川小学校地内」については問題外 高齢者、障がい者などの車利用ができない人にとって最大のバリアは車がないと利用できない場所に公共施設を建設すること。差別と言われかねない。</p> <p>電車利用者にとっては上記3か所に建設されても行かないだろう。なぜなら尾張旭の図書館を利用したほうがはるか便利だからだ。「パルティセと内」についても駐車場の関係から尾張旭市の方へ行ってしまう可能性がある。そうなれば、尾張旭市で食事や買い物をして帰ってくるといった生活パターンが定着して瀬戸市の税収減につながる。</p>	<p>本構想では、新しい瀬戸市立図書館の立地として、①現図書館地内、②瀬戸市文化センター地内、③産総研瀬戸サイト跡地、④パルティセと内、⑤深川小学校内の5つのケースを整理しています。ただし、候補地として絞り込むためではなく、あくまでも想定されるケースとして、検討したものです。なお、検討内容については、P44、45の表のとおりです。</p> <p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>87</p>	<p>財源の事については、建設工事費及び付記備品費で概算によると25億円が必要とされます。この費用をどのように予算化するかが不透明の構想案となっています。市民に明らかにすべき事項が不十分な時に、なぜ、急いですすめることがあったのでしょうか。</p>	

立地について（立地）

88	坂道はえらいので平らなところにして下さい。坂道など歩けなくなるかもしれないし行けれないかもしれないので平らにして作ってほしいです。	本構想では、施設立地に関する5つのケース検討を行っておりますが、あくまでも想定されるケースの検討であって、立地条件等絞り込みなどの前段階です。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
89	図書館は便利のよい所に建設してほしい。	
90	新たに図書館を建設する場合は、高齢者も利用しやすいよう公共の交通手段で行ける場所に建設してください。また、マイカーの場合は、駐車場が傾斜していなく平らである場所が十分にあることを求めます。	
91	<p>建物、設置場所については、広く、年齢も幅広く皆様が便利に利用でき、駐車場もゆとりがあり、足腰に難儀のある方にはバリアフリーが完治されることは必要だと思う。</p> <p>現在の図書館は、あの坂は、バリアフリー化が必要。</p> <p>今の資料館は瀬戸蔵へ移し、そこを駐車スペースにする。</p> <p>あらゆる希望を盛り込んだ新しい建物を、新たに作る必要は瀬戸市には、この財政難の時代にそぐわない。</p> <p>今の所で、問題のあるところを解決することでもいい。</p>	
92	利用者や利用したい人にとって交通の便が良いことが大切（他市に較べて非常に不便）	

<p>93</p>	<p>現在の瀬戸市立図書館は駅からも歩いて行ける距離にあり、平面的な立地としては大変便利な場所にあつて良いとは思いますが、丘陵地の上に位置しているため実際に利用しようと思つても徒歩や自転車で行くのが大変です。</p> <p>資料にもある通り、東松山交差点からフラットアプローチ、もしくはエレベーターでバリアフリー化するべきだと思います。</p> <p>個人的には高齢者なども利用しやすいように新瀬戸駅横のロータリー直上にあるのが便利かとは思いますが、現実的に不可能に近いので、駅から屋根のあるペデストリアンデッキなどで病院や銀行も含め移動できるようになれば良いです。</p> <p>現在の駐車場は坂になっており、ドアが急に閉まったりして危険で止めにくいので立体駐車場や地下駐車場にしてほしいところです。</p> <p>また、若者は車だけでなく自転車等の利用も増えているので自転車を止めてすぐに入れるような動線設計になればなと思います。</p>	<p>本構想では、立地に関する5つのケース検討を行つておりますが、あくまでも想定されるケースの検討であつて、立地条件等絞り込みなどの前段階です。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>94</p>	<p>駐車場は、斜面をなくしてほしい。</p>	

95	<p>敷地は、中心市街地の活性化も考慮し、尾張瀬戸駅より東側、かつ歩ける距離で、駐車場も十分確保できる駅からある程度離れた所が良いと思います。・当然バス路線の充実が望める位置が望ましい。・今は数館しかありませんが、学校に地域図書館がある瀬戸市の方針は大変良い。ぜひ、地域にとって身近な施設である全ての学校に設置してください。今はあまり周知されていないので利用者は少ないかもしれませんが、全学校となれば大いに広報でき、大いに活用されると思います。・中央図書館は、中心市街地の新しい学校に併設するのが瀬戸らしく、施設有効活用も可能です。・東近江市の分館化した図書館の特化と連携は参考になります。</p> <p>もしカフェ・コンビニを入れない事になってしまったら、図書館の近くにあることが条件です。</p>	<p>本構想では、立地に関する5つのケース検討を行っておりますが、あくまでも想定されるケースの検討であって、立地条件等絞り込みなどの前段階です。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
96	<p>駐車場の改善として、場所は候補に挙がっていたところより、現在の場所の方がよいと思う。踏切はネックだが、瀬戸市内の人が集まりやすい場所ではあると思う。ただ、駐車場が狭く、傾斜があり、ドアの開け閉めに非常に気を遣う。立体駐車場にしてもらえると、雨の日でも濡れずに行き来できていい。</p>	
97	<p>「既存の建物の改修」の場合、その建物の形状などに左右され結果的に不満足なものになってしまうことも考えられるため、「新築」によるべきである。</p>	

98	「複合施設」よりも、図書館単独の建物とし関連施設が必要であれば同一地内に別個に配置を課考えるのが望ましい。	本構想では、立地に関する5つのケース検討を行っておりますが、あくまでも想定されるケースの検討であって、立地条件等絞り込みなどの前段階です。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
99	図書館だけでなく他の施設も併設するなど複合施設もいいが、瀬戸市予算と財政状況も考えなければならない。身の丈にあったものでお願いします。	

交通アクセスについて

100	図書館に行くバスがほしい。	交通アクセスにつきましては、本構想のP 29、30 に対応策を整理しています。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
101	図書館に行くのに交通費がかからないようにしてほしい。(無料バス)	
102	図書館の場所は交通アクセスが良い方が利用しやすいが、コミュニティバスの利用が出来るが良い。	
103	交通が不便なところがあるのでコミュニティバスの運行を利用できるように見直してほしい。	
104	どの場所に図書館ができて、バスが巡回し、行けるようにしてほしい。	

今後の進め方

105	整備スケジュール(案)が説明されていません。これで市民は、パブリックコメントに値しないと思っておりますがどうですか。	今後の進め方について、本構想P 46 に、基本的な考え方を追加修正しました。
106	住民の声を優先に取り入れてほしい。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
107	住民の意見を取り入れるために、各分野の専門家や、一般市民も含めた建設委員会又は、図書館協議会をつくって進めてほしい。急いで作るのではなく、じっくり時間をかけて検討してほしい。	

108	<p>図書館協議会を設置して広範囲の人達で検討する態勢を作って進めてください。協議会のメンバーには有識者だけでなく現場の先生方や一般の代表も含めて運営してほしい。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
109	<p>図書館機能、サービスについてはもっと広く丁寧に調査すべき。専門家や、教育委員会、図書館に関係する団体（友の会など）、そして市民も含めた協議会など設け、じっくり計画をたてて欲しい。急いで作ってしまい、中途半端になって欲しくない。</p>	
110	<p>図書館としてどうあるといいのか、市民の意見を聞くための会を何回か開催して進めて頂きたい。市民のためはもちろんの事、市全体が利益として還元できるものとしてとらえること。市として、文化資料として根付かせることが、人材を育てる重要な場ととらえる事により瀬戸市を発展させることにつながるようになる。</p> <p>ある建物の再利用はムダ使いしないことで良い。但し使いやすく、良い改修だねと言われるようなものに、それには市民の知恵を出しあって時間をかけて進めていただきたい。</p>	
111	<p>図書館建設は急がず、市民、学識経験者、図書館関係者、教育関係者などで構成する協議会をたちあげ、広く意見を聴き検討してほしい。</p>	
112	<p>十分な話し合いをして、より良いものをつくりあげてください。専門家や市民も入った協議会、委員会をつくってください。</p>	

113	構想の確定にあたっては、より多くの市民の意見を構想に反映させるため、市民参加の協議会をつくり検討を進めるべきである。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
114	市としての基本方針を明確にし、“最初にこれあり”でなく住民の意見、利用者の立場で検討を。 財政上の問題があるとは思いますが「業者丸投げ」することなく、時間をかけての検討を強く希望します。	
115	つつい見ばえのいい事のみを追求して、一見はなやか、一見にぎやかに見えてもそれは図書館ではなく単に商業施設になりさがり、時が過ぎて見れば孫達に負の遺産になっていたということにならないよう多くの市民の知恵を結集して、いいものを作りたいです。数年という年数をかけてじっくりといいものを作りたい。あわてて作ったものはなんの魅力もない市民にとって使いにくいものにだけはしないようする。	

その他

116	以前のように、団地の中を移動バスで回ってほしい。	地域での図書館サービスの向上のため、移動図書館から、地域図書館へと転換しました。
117	瀬戸市としての地域性を生かした建物、資料の充実を望む。他市町からも来館したくなる、独自性をもった図書館にしてほしい。	図書館整備に必要な機能とサービスについて、本構想P29、30で整理しています。
118	図書館はその経営状況（例えば、貸出者数、貸出冊数など）によってのみ構想されるべきではない。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

119	現図書館の基本構想が不足して居ることを指摘します。① 1、2階の平面図が記載されていません。②職員（正規、嘱託）の人員、職種についてもありません。	ご指摘の通りでありますので、本構想P1、2で追加修正しました。
120	遠距離利用者のために、学校、幼稚園、保育園で本の返却が出来るようにする。	現在、小中学校5校を地域図書館として、運営しており、土・日・祝日の午前10時～午後3時に開館しています。本館同様、貸出・返却が可能です。
121	図書館の職員が小学校、幼稚園や保育園で、読み聞かせができるようにする。	既に、各小学校等からの要請に応じて実施しております。
122	「瀬戸市教育アクションプラン（平成17年3月）」の中で、「スポーツ施設」の計画的更新・改修（P58）について、利用者の計画策定への参加、市民主体の運営・整備に検討としていました。この姿勢は、今でも瀬戸市のスタンスとしていますか。図書館の運営も市民が主人公になるように強く要請をします。	現在、地域図書館の運営や企画を、市民のみなさまが図書館サポーターとして登録し、活動していただいています。
123	公共施設白書（P15）の「民間活力の導入」をうたっており、瀬戸市立図書館整備においても考量する必要がありますと記述されている。具体的に検討をされているのか。今後の進め方に大きな影響がある課題だと思うので軽々しい表現は避けていくべきだと思う。具体的なことを検討されていれば発表してほしい。	今後、本構想をもとに、市民のみなさんのご意見をさらにお聞きしながら、上位計画等との整合性を図ります。
124	図書館の使命は、理念を実現していくための活動内容になりますので条例など規定することを、お考えでしょうか。	「瀬戸市立図書館条例」は、図書館法（昭和25年法律第118号）第10条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2の規定に基づき、昭和45年6月1日に施行しております。

125	<p>図書館はあらゆる公共施設との連携が欠かせません。教育文化の中核です。</p> <p>学校では、もはや図書館は校舎の端の、静かだけど誰も行かない場所には作りません。「自ら学ぶ学習」の中心となる活気あふれる活動空間です。生涯学習の中核である図書館も、それに倣い活気あふれる場所であればなりません。最新の生涯教育施設より、最新の学校教育施設の方が進んでおり参考になります。</p> <p>市民が誇れる、内外に話題性のある魅力ある図書館にしたい。</p> <p>瀬戸市ならではの資料構成が施設各部分の計画に表れた魅力ある図書館。</p> <p>子育て世代を呼び込む魅力ある図書館。小牧の絵本図書館は魅力的です。</p> <p>中途半端なものは造らないでほしい、安物買いの銭失いだけはやめてください。</p> <p>管理重視ではなく、利用者サービス重視の資料や施設の構成にしてください。本物の司書さんにはその方が使いやすいはずです。当然人員の充実は欠かせません。そこでケチってはだめです。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
126	<p>「街のにぎわい創出のため」などという考えは、図書館にはふさわしくない。</p>	

127	<p>近似自治体の比較がありますが、これだけでは情報として不足をしています。瀬戸市立図書館が全国的なレベルでどの位置にあるか示すことが、より理解を得ることができると思います。そこで、各都市との予算額に占める図書館費、資料費の比率。また、貸出点数が1人当たり何点かわかる資料など、市民が読みやすくて理解しやすい配慮がなされていないように見受けられます。そして、近似自治体の中で上位からどの位置に瀬戸市立図書館があるかを伝えることも大切ではないでしょうか</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
128	<p>建替え費用について、商業施設設置や高層部分を居住施設として保留床を売却するなど、民間との共同開発建替え費用を削減できればいいと思う。</p> <p>名古屋市内では建替え費用の資金が不足していた御園座の建替えに、劇場だけでなくマンションも付属させて再開を行ったので、こういった建替え費削減を行いながらも利便性を向上させた複合開発ということも考えれば、瀬戸に住む若い人も増える。</p>	
129	<p>耐震など工事も大変かと思うが、最小限の予算でしてほしい。立派すぎる建物は必要なし、瀬戸市内の業者で行う。</p>	

130	図書館利用者が主の 2000 人以内の対象者、内容もその人達向のみのように感じた。市民全体を把握するくらいの気持ちがない。市にとって一生の物、時間をかけて進める事が必要。	来館者アンケート調査については、平成27年9月5日～16日の期間、すべての曜日、時間帯で行いました。無作為抽出して郵送回収する手法ではなく、実施する
131	アンケートを取ったり、団体へのヒアリングもしていますが、まだ不十分。アンケートは図書館で利用者に対して行われており、実施期間も短い。図書館を利用しない人に対して、なぜ利用されないのか聞くべき。今の図書館がいかに利用しにくいのか、なぜ利用しないのか、その為の対策を考える時参考になる。	目的を個別に説明し、聞き取りに近い方法で実施しました。一方、非来館者調査については、やすらぎ会館で開催された6か月児健康相談でのブックスタートの際に、実施しました。また、市民活動センターの協力をいただき、市民団体の会員のみなさんにも実施しました。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
132	図書館を利用したいのに利用していない市民の意見を重点的に聞いてください。(私は東京では週1回は図書館に行っていましたが、瀬戸に来てからは足が遠のいている)	

※今回、パブリックコメント手続きのほかに、「市民意見交換会」などを実施し、多くの貴重なご意見をいただきました。こうした意見をもとに、再度、構想全体を見直し、候補地比較表の修正を行っています。

6 担当部署

瀬戸市立図書館

(電話)0561-82-2202 (FAX)0561-85-2651